

インターネットガバナンス (2)

2003年2月15日

第2回Next Generation Task Force研究会

株式会社日本レジストリサービス

大橋由美

(Yumi Ohashi, yumi@jprs.co.jp)

目次

- インターネットガバナンスとは
- インターネットガバナンスをめぐる歴史
- なぜICANNが必要だったのか
- ICANNは何を実現したか
- 岐路に立つICANNとインターネットガバナンス
- ICANNの今後

インターネットガバナンスとは(1/2)

インターネット上の通信が確実・円滑に行われるよう

- ・インターネットの基盤となるプロトコルパラメータ(ドメイン名、IPアドレス、プロトコル番号等)のユニーク(一意)な割当とレジストリ管理
- ・名前解決(ドメイン名⇒IPアドレス、IPアドレス⇒ドメイン名)の仕組みである DNS を管理

さらに

- ・ドメイン名の割り当て(登録)が競争原理に基づき最適化される制度の策定・運用(独占の緩和)
- ・ドメイン名の本来の目的ではない不正な目的による登録・使用を排除する制度の策定・運用(不正使用の排除)

これらを「誰が」「どのような方法で」「誰の費用負担で」
実現するのか？

インターネットガバナンスという問題

インターネットガバナンスとは(2/2)

- インターネットガバナンスの問題
 - 世界レベル、地域レベル、国レベルで存在
- 世界レベルの問題は多くの人々の関心事
 - トップレベルドメイン(com や jp 等)の割当(委任)
(現在14の gTLD、243の ccTLD)
 - IPアドレスのトップレベルブロックの割当(現在4つの RIR)
 - ルートサーバーシステムの運用(現在13のルートサーバー)
 - プロトコル番号の割当

インターネットガバナンスをめぐる歴史

- 1969年 米国国防総省ARPAがARPANET開始
- 1972年 ネットワークで使用する各種の割当番号を一意に管理する業務を南力大ISIに委託
- 1983～85年 ARPANETにTCP/IP、DNS導入、ドメイン名割当開始
- 1990～95年 インターネットの商用化、社会インフラ化
- 1996～97年 インターネットコミュニティによる問題解決の動き
 - ◆IAHC(国際臨時特別委員会)が最終報告書で新管理体制を提言
- 1998年 米国政府による仕切りなおし
 - ◆米国商務省「グリーンペーパー」「ホワイトペーパー」
 - ◆米国政府はDNS管理権限を民間に移行すると宣言
 - ◆米国商務省がICANN(The Internet Corporation for Assigned Names and Numbers)と契約(1998年11月)、ICANN体制始動
- 2002年2月 ICANN事務総長Stuart LynnがICANN改革案提示
 - ◆ICANNは岐路に立たされている

なぜICANNが必要だったのか

ICANN設立の動機となった課題

- 米国政府管理下から民間主導のグローバルなインターネットへ
 - 米国研究機関の指示・資金提供からの自立
 - 米国以外の利害関係者の参加
- 秩序ある強固な管理構造の確立
- gTLD (generic Top-level Domain) 登録の独占状態緩和
- 新しいTLDに対する要望
- 商標権者とドメイン名保有者との間の紛争・混乱の緩和

ICANNは何を実現したか

ICANNの成果

課題(ホワイトペーパー)

と

解決(ICANN)

米国研究機関の指示・資金
からの自立

資金確保の問題は現在も模索中



米国以外の利害関係者の参加

理事の選出方法については現在
も模索中



秩序ある管理構造が必要

契約締結はgTLDレジストリ/レジ
ストラ、一部のccTLDレジストリ



ドメイン名登録の独占

レジストリ・レジストラ制度の導入



新しいTLDに対する要望

7つの新gTLDの創設



商標権者とドメイン名保有者との
間の紛争

UDRP(統一ドメイン名紛争処理
方針)の策定



岐路にたつICANNと インターネットガバナンス

ICANN事務総長の問題提起と改革提案

- 2002年2月24日 ICANN事務総長Stuart LynnがICANN改革案を発表
 - 背景
 - ICANN設立から3年以上。しかし、果たすべき責務の全ては達成できず、組織は未だ不完全であり、グローバルなDNSの管理・調整の責任を完全に負うほどの能力を得てはいない
 - 米国政府からの機能移管は立ち往生

ICANN事務総長が指摘した問題 (1/5)

1. 重要な組織からの参加不足

- ICANNのポリシー策定プロセスの結果遵守に同意し、適切なレベルの資金提供をすべきはずなのに・・・
 - ccTLDレジストリ
 - ルートサーバ運用者
 - IPアドレスレジストリ
 - 主要ユーザ、ISP等
 - 政府

ICANN事務総長が指摘した問題 (2/5)

2. プロセスの過度な重視

- 実効性と実質性が弱まった
- 参加者の多くは核心的でないプロセスの議論に膨大な注意と関心を払ってしまった
 - 選挙方法の議論など
- 貴重なスタッフと理事会の時間が取るに足りないプロセス再検討に費やされている
- 原因: 新しい組織であるICANNが早計で不適切な決定を行ってはいけないという発想と、政府の関与に対する過敏な反応

ICANN事務総長が指摘した問題 (3/5)

3. 資金不足

- 毎年400,000～500,000米ドルの赤字
- 必要なはずの雇用を拡大せず、積立金を犠牲にするなどして対処
- 訴訟が起きた場合費用賄えない
- 原因：ICANNとまだ契約関係を持たないccTLDレジストリ、IPアドレスレジストリはICANNに負担金を払いたがらない

ICANN事務総長が指摘した問題(4/5)

3. 資金不足(続き)

- 10～20名の常勤スタッフ不足
 - 新たな事業に必要なリソースを割くことができない
- ルートサーバ運用、一般への説明、意見交換にあてる資金がない

ICANN事務総長が指摘した問題 (5/5)

- このままでは、米国政府からの権限移行に成功する見込みはない。その場合、ICANNが達成したインターネット資源管理の国際化は弱まり、ICANNの使命遂行は不可能になる。
- ICANNの脆弱性は、インターネットインフラを外部からの脅威にさらす。
 - 名前空間の分断
 - セキュリティへの脅威 など

ICANNの使命とは？

- 2002年3月 ICANNスタッフがICANNの使命を整理し、公開
- 2002年5月 ICANNの発展と改革に関する委員会から研究報告書
- ICANNの使命
 - インターネットのネーミング、アドレス割り振りなどの各システムの調整、安定性維持。
 - DNSのルートサーバシステムの運用および展開の調整

使命遂行の核となる価値

- インターネット運用上の安定性、信頼性、セキュリティ、グローバルな相互運用性維持向上を目指す
- ICANNの活動を適切な範囲に絞り、インターネットの自由な創造性と革新を尊重する
- 調整業務を可能な範囲で責任ある組織に委任する
- 意思決定とポリシー策定への国際的参加を促進する
- インターネットの機能的と地理的多様性を反映させた理事会を目指す
- 実行可能で有益な場合は、ドメイン名登録における競争を導入、促進する
- 実行可能な場合には、市場メカニズムに競争環境の促進と持続を委ねる
- オープンで透明性のあるポリシー策定メカニズム
- ポリシー文書は中立的かつ客観的に適用する
- インターネットのニーズに対応しうる速度で措置をする
- インターネットコミュニティへの説明責任を保持する
- 民間セクターに根ざしつつ、公益のために政府の懸念を配慮し措置を行う

ICANN改革の主な論点

- ICANNのポリシー策定の範囲はどこまで？
 - IPアドレス割り振りにおいては、グローバルなアドレスポリシーのみに限定
 - ドメイン名においては、グローバルに影響するポリシーのみ
 - gTLDに関するものがほとんど
 - ccTLD関連でグローバルなポリシーとは？
 - ルートネームサーバにおいては、分散化と配置場所、アーキテクチャ改良等のポリシー

ICANNの今後

ICANN改革スケジュール

- 提起された諸問題の解決を目指し、組織改革を進行中
- 改訂した定款を事前公開・コメント募集中
(2月22日まで)
 - ICANNの発展と改革に関する委員会からの「新付属定款への補足および修正」
<http://www.icann.org/committees/evol-reform/proposed-bylaws-corrections-08feb03.htm>

ICANNステークホルダーの気になる動き

- ccTLD: データベース管理・更新、ルートネームサーバへの反映はICANNに任せたくない
 - データベース更新業務が停滞気味
 - 恣意的に更新の可否を判断しているように見える
- IPアドレスレジストリ: ポリシー策定は地域インターネットレジストリ中心に確立済み
 - 利用者含むボトムアップのポリシー策定プロセスすでにある
 - 地域インターネットレジストリ間の調整は自ら行う
 - ICANNは未割振アドレスの管理、新地域インターネットレジストリの認証のみ行えばよい

参考

- JPNIC Web「ICANN改革の流れ」
<http://www.nic.ad.jp/ja/icann/reform/overview.html>